

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

|      |    |     |           |     |       |
|------|----|-----|-----------|-----|-------|
| 学校番号 | 58 | 学校名 | 仙台市立袋原小学校 | 校長名 | 飯野 正義 |
|------|----|-----|-----------|-----|-------|

## 1 取組のタイトル, テーマ

「屋上の太陽光発電から学ぶ」



## 2 取組の紹介

屋上に設置された太陽光発電の有効利用を伝えることにより、クリーンなエネルギーについて関心を持つようにしています。

## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

### (1) 屋上の太陽光発電を知る

学校の屋上には大きな太陽光発電のパネルが設置されているものの、児童が目にするのが少なくなっています。そこで、異学年の児童に声をかけ、屋上の太陽光発電の施設を見せると、低学年から高学年児童まで興味を示しました。



また、学校の環境部会では「屋上の太陽光発電の利用の仕方を知らないのではないだろうか。伝えていく必要もある。」という話題が出ました。

そこで、学校に設置されている太陽光発電のことを伝えて、クリーンなエネルギーのよさに児童が気付けるようにと状況把握をしました。

### (2) 太陽光発電に伴う設備

屋上には1枚250W発電できるパネルが30枚あります。10000W内になるように設置されています。

1階西側に蓄電することにより、体育館の防災対応の電力に使用されています。一つは、防災対応照明スイッチとして2つの水銀灯に利用しています。



また、防災対応コンセントが数カ所あり、いざ避難所となった時、太陽光発電により蓄電された電気を有効利用できるようになっています。

### (3) 今後の取り組み

太陽光によるクリーンなエネルギーを地域の住宅や学校でも利用していることを伝え、本校で継続的に行っている防災の授業にも取り入れて、関心を持たせていきます。